

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年 10月 17日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3492700038		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	ほのぼの苑 廿日市東		
所在地	〒738-0005 広島県廿日市市桜尾本町3番21号 (電話) 0829-34-3800		
自己評価作成日	令和元年8月30日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3492700038-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和元年9月30日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>家庭的な雰囲気の中、地域の方とご家族の方とのご協力も頂きながら、お一人お一人の心に寄り添う支援を心がけています。苑での食事は食材の購入から調理まで苑で行い、管理栄養士の指導を受け、一汁三菜を基本として1日3食温かい食事の提供に努めています。</p> <p>また、3階の花壇では花や野菜を育てています。外気浴も兼ねて花壇の花を楽しまれたり、時には手入れも行っていきます。実った野菜の収穫の喜びを皆様で味わい、食事に彩を添えています。</p> <p>他にも、天気の良い日には近所へ散歩に出かけ、年間の行事では花見、駅伝応援、お祭りの大名行列見物など外出の機会を設け、季節を肌で感じてもらっています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>平成19年に開設し、住宅街にて大名行列など地域行事も盛んな地域に立地している事業所である。食事は三食手作りにて、一汁三菜を基本に家庭的で温かく美味しい食事を提供している。運営推進会議では毎回研修などテーマを決めて実施を継続している。家族の参加も多くあり、地域を交えての活発な意見交換がなされている。地域交流も日常の挨拶やお祭りなどの行事参加をはじめ、事業所見学会、相談会を新聞のチラシ広告に掲載し幅広く周知できる取り組みを行っている。毎月、日中・夜間の避難訓練を実施しており、防災意識も高く取り組みの実践がある。看護師を中心に関係医療機関と適切に連携がなされており、安心して医療を受けれる体制もある。会社の取り組みにおいて研修や資格の取得支援も力を入れており、職員のレベルアップに繋がり、「利用者がのびのびと楽しく、自分の思いを大事にできる支援」を実践している事業所である。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	苑の理念とスタッフの改善を毎朝の申し送りで唱和し実践している。スタッフ会議で話し合い、利用者様への対応の改善についての心構え、申し送り時に唱和し改善するよう努めている。	開設当初からの理念とスタッフの改善についてという事業所の心構えを毎日の申し送り時に唱和し、月1回のスタッフ会議で話し合いを持ち、職員一人ひとりが理解し浸透できるようにしている。理念や心構えを意識して業務の実践に日々努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会へ入会、利用者様との散歩の時や他職員の出勤退勤時にも地域の方々と挨拶を交わし馴染みの関係を作っている。中学生の福祉体験学習の受け入れで、世代を越えたふれあいで絆を深めている。	3ヶ月に1回定期的に介護相談会、施設見学会を行い、見学会の案内を新聞チラシに入れたいり、地域の回覧板で知らせ周知しており、地域にも普及している。日々の散歩や毎年の地域行事である大名行列に参加は地域の方とのふれあいの機会にもなっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	去年の11月、今年の3月、7月には介護相談会、施設見学会を行った。新聞チラシ配布したり苑の前に提示してお知らせし高齢者施設に関する質問や相談に応じている。臨時対応も常にしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	市、町内会、民生委員、ご家族様に参加して頂き、現状報告を行っている。また毎回講師の先生を招き、栄養指導・防災・認知症予防等について研修を行っている。頂いたご意見、研修の内容は、朝礼時や会議にて伝達しサービス向上に繋げている。	会議では運営や取組みの実践報告を行うとともに、毎回、講師を招き講演や研修を重ねる形で趣向を凝らして実施することを継続しており参加者からも好評を得ている。会議では様々な意見交換や提案があり、最近では職員の名前が分からないとあり、名札を付けることを行った。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険に関する情報を市からメール頂いたり、地域包括支援センターと入居の件で情報交換するなど、連携を図っている。また、月一回、介護相談員に来苑頂き、利用者の声を行政に届けている。	市の介護相談員の来所時に情報共有していることや、市へ書類の提出時に見学会の案内を一緒に届けたり、施設長会議が行われることで意見交換を行ったりと関係性を作れるように取り組んでいる。市の主催の研修会にも参加をしている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関は安全を優先して施錠しているが希望があればいつでも開錠している。身体拘束マニュアルを作成し、勉強会を行い拘束をしないケアを徹底している。	会社で身体拘束をしない方針を掲げ、利用者の行動や様子に意識を持ち、利用者が立とうとする時には都度職員が対応することなど、徹底がなされている。これまでも身体拘束実施例はなく、インシデントごとに検討を行うことや、スタッフ会議の議題にも上がり、職員同士お互いに注意の意識を高めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止マニュアルを作成し、職員間で共有している。また、定期的に虐待チェックシートを記入し自己評価をすることで虐待防止に対する意識を高めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員が研修会に参加した後はスタッフ会議の場で報告してもらい情報を共有している。法人内の専門職に助言をもらい活用できる協力体制にしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、管理者、計画作成担当者が出席し、口頭と文書で時間をかけて説明している。入居前でも後日でも、随時質問を受けられる体制を整えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議や面会時に、ご意見や要望を頂戴し日々の運営に反映している。	家族から名前が分からないとあり、名札を付けるようにしたことや、言葉づかいの指摘にも改善できるように検討を重ね実施している。利用者からも「足が悪くなったけど歩きたい」という希望に歩行訓練を個別に実施したり、食べたい物を食事に反映したりと個別に応えている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、会社の代表者も出席の上、スタッフ会議を行い一ヶ月の報告と意見交換を行っている。	日々の業務の中や会話で利用者の対応であったり、職員人数など人員に関する事など、様々に意見や要望があげられている。管理者はその意見を検討し会社に上げ対応するなど、実施している。職員とも話し易い関係性もできている。資格取得も希望を聞き支援や研修に参加できるようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の資格取得に向けた支援を行い、日々の会話で疲労やストレスの要因について理解するよう努めている。また休憩場所や時間を設け気分転換を図っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内部研修、外部研修を行い職員の自発参加を促している。新人介護職員合同研修、自立支援の介護技術、福祉現場のリーダー育成研修、身体拘束に頼らないケアの実施、などの研修に参加。参加者はスタッフ会議で報告し情報を共有している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	施設見学の際には各事業所に案内を郵送し、他事業所からもお知らせが郵送されてきます。他事業所の方が見学に來られ情報交換することもある。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス開始にあたっては、事前見学して頂いたり事前訪問させて頂き、会話の中から利用者様の思いを把握するよう努めている。入居後は特に関りを多く持ち、安心して生活できる環境作りをしている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前、直後も不安定な思いや要望をしっかりと聴きし相談しやすい環境作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	状況に応じて、その時の必要性を見極め検討している。早急な対応が必要な相談者には可能な限り柔軟な対応をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	介護する側、される側という意識を持たず、共に支えあう関係作りをしている。人生の先輩として敬い、暮らしの知恵など職員が教えて頂く場面もある。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	日頃の状態をこまめに報告し、ご家族様の思いや意見もお聴きしながら、同じ様な思いで支援する事を心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	これまでの人間関係やご近所付き合いなどを把握し、面会に来ていただいたりと繋がりを継続できるよう支援している。	利用者の墓参りに行きたい、美容院に行くなどの希望にも家族の方の協力を得ながら行っている。秋祭りに参加し、知った方に会ったりと、馴染みの人や場に繋がる支援の継続に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	個別に話を聞いたり、利用者様同士の関係がうまくいくよう職員が間を取り持つこともある。交流が苦手な方も職員と一緒に関わることで孤立する状況を作らないよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も随時ご家族様からの相談にのっている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の会話の中から利用者様の生活歴や好みを把握するよう努め職員間で情報を共有している。意思疎通困難な方は、ご家族様からの情報を得ると共にセンター方式を利用し生活全般の好みや過去、現在の思いの違い等把握に努めている。	職員は利用者の担当をそれぞれにもち、利用者の状況や様子を細目に把握ができるように関わり、把握した内容は記録に留めたり、計画作成者に報告しプランに反映できるようにしている。以前の趣味やよく行っていた活動など、本人がしたいことをなるべく行える様にしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に利用者様やご家族様から生活歴や要望等をお聴きし馴染みの生活が継続できるよう環境作りをしている。また、入居前のサービス提供者より情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	身体及び生活状況の変化を職員間で話し合い、情報を共有し意識統一を図っている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>まず、利用者様、ご家族様のニーズに沿ったケアプランを作成し、担当者会議にて看護師、介護職員も含めて再検討することで、現状に即したプラン作成に努めている。</p>	<p>職員が毎日、プラン内容の実施のモニタリングを行っており、担当職員が個人の様子や意向をより詳しく把握し情報共有を行っている。計画作成者が本人や家族、各担当職員の意向を踏まえ、情報や振り返りを基にプランに反映させ原案を作成している。必要に応じ医療とも連携し計画作成がなされている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別の経過記録を記入し、職員間で確認している。また、「サービス計画書による介護実施及びモニタリング」に介護職が毎日気付き等を記入することで情報の共有や介護計画見直しに生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>利用者様のニーズに合った支援が行なわれるよう心がけている。また、ADL低下が見られる時は、生活リハの強化に力を入れている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域行事に参加させて頂くとともに、散歩等、地域の中で楽しみを感じて頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時に苑の連携医療機関を説明し、今後のかかりつけ医を決めていただいている。また、看護師による医療連携も行なわれており、適切な治療が受けられるよう支援している。</p>	<p>月に1回、協力医院から主治医の往診がある。希望により入居以前からかかっている主治医を選択もできるようにしている。受診時は家族に連絡し職員の同行も行っている。週に1回の訪問歯科もあり、看護師による医療連携も良好に図れており、適切に医療が受けれる環境を構築されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師2名が交代で勤務し、ほぼ毎日看護できる状態にある。夜勤者が朝礼時に夜間の気づきを伝え、日中はその都度報告している。看護師は個々のかかりつけ医に相談の上、適切な看護を行なっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先と連携を図りながら、状況把握や退院の方向性について情報交換している。また、面会時に利用者様の容態を確認しながら早期退院に向けて話している。退院前にも面会し病院関係者より利用者様の体調について情報を頂いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	早い段階でご本人とご家族様と話し合いを持ち、終末期のあり方について、ご家族様、医師、苑との三者懇談を行い、方針を決める事に行っている。	事業所で看取りも実施している。入居時に終末期における対応を説明しており、本人の状態をみながら早い段階から話し合いの機会を持ち方針を決め行っている。スタッフ会議で勉強会も行っている。医療や管理栄養士とも連携を図りながら終末期の対応を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを作成すると共に、利用者様の病歴を把握し、急変時の対応に心掛けています。急変時に落ち着いた対応が出来るよう、スタッフ会議にて看護師により講習も行なっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	毎月1回日中消防避難訓練を行い、夜間避難訓練も毎月夜勤者が行なっている。地域の防災訓練にも参加し、協力体制を整えている。	毎月消防避難訓練、夜間での避難訓練を行い、年2回消防署の立会いでの訓練も実施している。災害別の避難マニュアルも作成している。地域の防災訓練にも参加し、運営推進会議にて事業所が避難できる場所として情報提供したりと協力体制も構築している。備蓄も3日分備えを配備している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人お一人に合った声かけを心掛けている。自己の言動を見つめなおすべく、定期的に虐待の目チェックリスト等を使って意識向上に努めている。	ケアの中で職員同士で声掛けを徹底し、それが行える人間関係の構築や配慮に努めている。独自の様式で「虐待の目チェックリスト」を作成し、職員へ振り返りや意識の浸透を図っている。管理者は職員の対応で気になる部分を感じる時には会議や個別の面談にて改善に努め対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日頃の会話の中から利用者様の真の思いに気づくよう努め、ご本人様の意思を尊重している。日々の生活はご本人のペースに合わせるよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々のペースを尊重し、起床、食事などの時間も個別対応している。外出、散歩等、出来る限り要望に応えられるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者様の好みの衣服を選んでいただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者様の希望もお聴きしながら、季節の食材を使用し、調理、配膳、片付け等、出来るところは一緒に行なっている。3Fの菜園で野菜の収穫も一緒に楽しまれている。	3食ともに手作りにて温かな家庭料理を提供している。菜園で採れた野菜を収穫し提供することや、行事食にて出前を取ったり、巻き寿司を一緒に巻いたり趣向を取り入れながら日常との変化をつけるなどの創意工夫がある。利用者には準備や配膳などできる部分での自立支援に繋がる取り組みを実践している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日、食事、水分摂取量を記録し個々の状態把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを実施し口腔内の清潔保持に努めている。また必要な方には訪問歯科医による治療、また利用者様全員定期的に口腔ケアも行なっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表に記録することで、個々のパターンを探る。出来る限りトイレでの排泄を促しオムツ、パットの使用量を減らせるよう支援している。尿量に応じた適切な大きさのパットに変更なども常に行っている。	排泄記録表を活用し個々の排泄パターンを把握し随時の排泄支援を行っている。尿漏れなどある時にはリハビリパンツのサイズなどおむつメーカーに相談して個々にフィットする対応を行うことや、会社よりメーカーに依頼しパットの講習会等の研修も行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄や散歩で腸運動に働きかけると共に、水分摂取や腸に良い食物の摂取に心掛けている。必要に応じて医師の指示を受け、排便コントロールを行なっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	出来るだけ希望に合わせて入浴して頂けるよう対応している。足浴、手浴、清拭、ドライシャンプー等の工夫も実行している。	1週間に2回程度の目安にて午後から入浴を行っている。利用者の希望に添える様に回数を増やす対応や拒否がある時は日にちや時間をずらすなど無理強いをせず、個人の意向を反映させた取り組みを実践している。身体状態低下のある方はリフトにて安心して入浴が行え、ゆず湯など季節感も感じ取れる支援もある。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	利用者様の生活習慣を継続した休 息を取り入れると共に、就寝時 間も利用者様の意向に沿うよう にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬の情報は個々のカルテに保管 し、いつでも職員が確認出来る ようにしている。薬剤師、医師 との連携を図り、副作用の早期 発見に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	役割を持ち、生活に張り合いを 感じられるような関りを心掛け ている。利用者様の嗜好等はセ ンター方式を用い、把握に努め ている。また、散歩やテラスで の外気浴で気分転換を図ってい る。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	天気の良い日には近所へ散歩に 出かけ、気分転換を心がけてい る。年間の行事として花見や駅 伝応援、お祭りの大名行列見物 を一緒に楽しむなど外出の機会 を設けるように努めている。	気候の良い日は近所や近隣の神 社など散歩をよくしている。暑 い時期など外出の負担が大きい 時期には3階のテラスで外気浴 を実施しており、外出行事にて 花見や初詣など企画したりと 楽しみや気分転換にも心掛けて 支援を実践している。日常から 家族に利用者の希望を伝え協 力も得ながら外出支援を行っ ている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	基本的には苑で管理している。外 出時には個人精算出来るよう支 援している。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者様のご家族様に毎年年賀状を出されているので、作成を支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関先には利用者様と一緒に作成した季節の飾り付けをしている。リビング内には絵画を飾ることで、落ち着いた雰囲気作りに努めている。また、ぬり絵や書道等、利用者様の作品も展示している。 三階のベランダ花壇では、季節の野菜や花々を利用者とともに育て楽しんでいる。	リビング内には利用者の作品や飾り付けがされており、花も飾られ、職員も花を持参し添えたりと、生活のアットホームな雰囲気がある空間づくりがなされている。テレビを消して音楽を流し落ち着いて塗り絵など創作に取り組めるよう環境を整えながら利用者が穏やかに過ごせるような配慮もなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングにソファを設置したり、利用者様同士でお話していただく為、席の配置を工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	好みの物や馴染みの物をお持ちいただくなどして、居室は自由に使用している。	家族の写真を飾っていたり、希望を聞きながら馴染みのものや調度品を持参してもらっている。希望により畳での対応も行うなど個々の意向や生活状況に添って居心地良く過ごせるようになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	お一人お一人の身体状況により、ご自分の力で動け、また危険回避できるよう、物の配置に配慮している。		

V アウトカム項目(1階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	苑の理念とスタッフの改善を毎朝の申し送りで唱和し実践している。スタッフ会議で話し合い、利用者への対応の改善についての心構え、申し送り時に唱和し改善するよう努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会へ入会、利用者様との散歩の時や他職員の出勤退勤時にも地域の方々と挨拶を交わし馴染みの関係を作っている。中学生の福祉体験学習の受け入れで、世代を越えたふれあいで絆を深めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	去年の11月、今年の3月、7月には介護相談会、施設見学会を行った。新聞チラシ配布したり苑の前に提示してお知らせし高齢者施設に関する質問や相談に応じている。臨時対応も常にしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	市、町内会、民生委員、ご家族様に参加して頂き、現状報告を行っている。また毎回講師の先生を招き、栄養指導・防災・認知症予防等について研修を行っている。頂いたご意見、研修の内容は、朝礼時や会議にて伝達しサービス向上に繋げている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険に関する情報を市からメール頂いたり、地域包括支援センターと入居の件で情報交換するなど、連携を図っている。また、月一回、介護相談員に来苑頂き、利用者の声を行政に届けている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関は安全を優先して施錠しているが希望があればいつでも開錠している。身体拘束マニュアルを作成し、勉強会を行い拘束をしないケアを徹底している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止マニュアルを作成し、職員間で共有している。また、定期的に虐待チェックシートを記入し自己評価をすることで虐待防止に対する意識を高めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員が研修会に参加した後はスタッフ会議の場で報告してもらい情報を共有している。法人内の専門職に助言をもらい活用できる協力体制にしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、管理者、計画作成担当者が出席し、口頭と文書で時間をかけて説明している。入居前でも後日でも、随時質問を受けられる体制をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議や面会時に、ご意見や要望を頂戴し日々の運営に反映している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、会社の代表者も出席の上、スタッフ会議を行い一ヶ月の報告と意見交換を行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の資格取得に向けた支援を行い、日々の会話で疲労やストレスの要因について理解するよう努めている。また休憩場所や時間を設け気分転換を図っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内部研修、外部研修を行い職員の自発参加を促している。新人介護職員合同研修、自立支援の介護技術、福祉現場のリーダー育成研修、身体拘束に頼らないケアの実施、などの研修に参加。参加者はスタッフ会議で報告し情報を共有している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	施設見学の際には各事業所に案内を郵送し、他事業所からもお知らせが郵送されてきます。他事業所の方が見学に來られ情報交換することもある。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス開始にあたっては、事前見学して頂いたり事前訪問させて頂き、会話の中からお本人の思いを把握するよう努めている。入居後は特に関りを多く持ち、安心して生活できる環境作りをしている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前、直後も不安定な思いや要望をしっかりと聴きし相談しやすい環境作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	状況に応じて、その時の必要性を見極め検討している。早急な対応が必要な相談者には可能な限り柔軟な対応をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	介護する側、される側という意識を持たず、共に支えあう関係作りをしている。人生の先輩として敬い、暮らしの知恵など職員が教えて頂く場面もある。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	日頃の状態をこまめに報告し、ご家族の思いや意見もお聴きしながら、同じ様な思いで支援する事を心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	これまでの人間関係やご近所付き合いなどを把握し、面会に来ていただいたりと繋がりを継続できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	個別に話を聞いたり、利用者同士の関係がうまくいくよう職員が間を取り持つこともある。交流が苦手な方も職員と一緒に関わることで孤立する状況を作らないよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も随時ご家族様からの相談にのっている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の会話の中から利用者様の生活歴や好みを把握するよう努め職員間で情報を共有している。意思疎通困難な方は、ご家族様からの情報を得ると共にセンター方式を利用し生活全般の好みや過去、現在の思いの違い等把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前にご本人様やご家族様から生活歴や要望等をお聴きし馴染みの生活が継続できるよう環境作りをしている。また、入居前のサービス提供者より情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	身体及び生活状況の変化を職員間で話し合い、情報を共有し意識統一を図っている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	まず、ご本人、御家族様のニーズに沿ったケアプランを作成し、担当者会議にて看護師、介護職員も含めて再検討することで、現状に即したプラン作成に努めている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別の経過記録を記入し、職員間で確認している。また、「サービス計画書による介護実施及びモニタリング」に介護職が毎日気付き等を記入することで情報の共有や介護計画見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人のニーズに合った支援が行なわれるよう心がけている。また、ADL低下が見られる時は、生活リハの強化に力を入れている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域行事に参加させて頂くとともに、散歩等、地域の中で楽しみを感じて頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居時に苑の連携医療機関を説明し、今後のかかりつけ医を決めていただいている。また、看護師による医療連携も行なわれており、適切な治療が受けられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師2名が交代で勤務し、ほぼ毎日看護できる状態にある。夜勤者が朝礼時に夜間の気づきを伝え、日中はその都度報告している。看護師は個々のかかりつけ医に相談の上、適切な看護を行なっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先と連携を図りながら、状況把握や退院の方向性について情報交換している。また、面会時にご本人の容態を確認しながら早期退院に向けて話をしている。退院前にも面会し病院関係者よりご本人の体調について情報を頂いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	早い段階でご本人とご家族と話し合いを持ち、終末期のあり方について、ご家族様、医師、苑との三者懇談を行い、方針を決める事になっている。癌再発に伴い、ご家族様、医師、施設長、ケアマネと今後の対応について話し合った。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを作成すると共に、利用者の病歴を把握し、急変時の対応に心掛けている。急変時に落ち着いた対応が出来るよう、スタッフ会議にて看護師により講習も行なっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	毎月1回日中消防避難訓練を行い、夜間避難訓練も毎月夜勤者が行なっている。地域の防災訓練にも参加し、協力体制を整えている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人お一人に合った声かけを心掛けている。自己の言動を見つめなおすべく、定期的にセルフチェックシートを使って意識向上に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日頃の会話の中からご本人の真の思いに気づくよう努め、ご本人の意思を尊重している。日々の生活はご本人のペースに合わせるよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々のペースを尊重し、起床、食事などの時間も個別対応している。外出、散歩等、出来る限り要望に応えられるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人の好みの衣服を選んでいただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者様の希望もお聴きしながら、季節の食材を使用し、調理、配膳、片付け等、出来るところは一緒に行なっている。3Fの菜園で野菜の収穫も一緒に楽しまれている。		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日、食事、水分摂取量を記録し個々の状態把握に努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを実施し口腔内の清潔保持に努めている。また必要な方には訪問歯科医による治療、また入居者様全員定期的に口腔ケアも行なっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表に記録することで、個々のパターンを探る。出来る限りトイレでの排泄を促しオムツ、パットの使用量を減らせるよう支援している。尿量に応じた適切な大きさのパットに変更なども常に行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄や散歩で腸運動に働きかけると共に、水分摂取や腸に良い食物の摂取に心掛けている。必要に応じて医師の指示を受け、排便コントロールを行なっている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>出来るだけ希望に合わせて入浴して頂けるよう対応している。足浴、手浴、清拭、ドライシャンプー等の工夫も実行している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>ご本人の生活習慣を継続した休息を取り入れると共に、就寝時間もご本人の意向に沿うようにしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の情報は個々のカルテに保管し、いつでも職員が確認出来るようにしている。薬剤師、医師との連携を図り、副作用の早期発見に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>役割を持ち、生活に張り合いを感じられるような関りを心掛けている。ご本人の嗜好等はセンター方式を用い、把握に努めている。また、散歩やテラスでの外気浴で気分転換を図っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日には近所へ散歩に出かけ、気分転換を心がけている。年間の行事として花見や駅伝応援、お祭りの大名行列見物を一緒に楽しむなど外出の機会を設けるように努めている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>基本的には苑で管理しているが、外出時には個人精算出来るよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>入居者様のご家族に毎年賀状を出されているので、作成を支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>玄関先には利用者様と一緒に作成した季節の飾り付けをしている。リビング内には絵画を飾ることで、落ち着いた雰囲気作りに努めている。また、ぬり絵や書道等、利用者様の作品も展示している。</p> <p>三階ベランダ花壇では、季節の野菜や花々を利用者とともに育て楽しんでいる。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングにソファを設置したり、利用者様同士でお話していただく為、席の配置を工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>好みの物や馴染みの物をお持ちいただくなど、居室は自由に使っている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>お一人お一人の身体状況により、ご自分の力で動け、また危険回避できるよう、物の配置に配慮している。</p>		

V アウトカム項目(2階) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームほのぼの苑廿日市東

作成日 令和元年11月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	利用者様に対する不適切な言葉使い。	利用者様に適切な言葉使いで接する。	常に敬意を持って対応。丁寧でわかりやすい言葉で話す。しっかり傾聴し話を聞く。スタッフ間で注意しあえる環境を作る。	6ヶ月
2	38	利用者様の筋力の低下。	現在の筋力を保つ。	現在の歩行訓練を継続しながら、スクワットなどの筋トレや可能な方は3階外気浴への移動の際、階段も利用する。	6ヶ月
3	41	水分摂取が少ない方がいる。	十分な水分量を確保する。	食事前、食事中もお茶を勧めしっかり水分を摂って頂く。体操など体を動かした後、水分を勧める。	6ヶ月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。